



YMCA NEWS

金沢青年

No.10 (2007年1月号)

発行所: 金沢キリスト教青年会 本部 〒920-0998 金沢市里見町 44-1 里見タウンハイツ 201
TEL/FAX(076) 221-5398 <http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>

青少年に希望の灯を

理事長 井上良彦

「YMCA は青少年の間に全人的育成をはかるフロンティアの運動として、開拓的な仕事を近代日本において成して来たと思う。」——この夏、急逝された同志社の竹中正夫名誉教授は、この秋に出された『YMCA 史学会紀要』に書かれている。私たちが企画した会での講演を依頼していたが、病篤く急にお断わりになった。この原稿はそういう状況のなかで責任を果たされたのだろう。



青少年育成と YMCA 運動は、切って切り離しえない関係にある。その名のおり、若い青年たちが主体の運動体が YMCA であった。そして、めざましく新鮮な活動を展開してきたと思える。

「学 Y」と「シティ Y」の二つの大きな流れがあって、さかんに活動し、多くの人材を産み出しもしてきたのである。学 Y とは学生 YMCA、おもに高校・大学のキャンパスを中心に運動が展開された。私も学 Y との関わりがあり、いろいろと思い出の場面が臉に浮かんでくる。リーダーの一人だった藤森元さんが書き残した分厚な二冊が手元にある。

一つは『アジアの中の日本とキリスト教運動』と題されている。「ナショナルなもの世界的なものの間」という副題がついており、藤森さんの視野と活動範囲の広さにおどろかされる。ここに述べられるような観点と経験が、近年の日本には希薄になっていることを残念に思うものである。

もう一冊は『大学とキリスト教運動と私』で、「世俗なる聖なる生」と副題がある。学 Y に身を置いた彼が、大学の学生たちと火花を散らして、議論したり思索したりした様子がかがえる。YMCA は、若者の問題意識が渦巻き、エネルギーが充満していたのである。

YMCA の歴史をふり返ると、時代と社会に対する貢献は大きかった。YMCA の原点は青少年の全人的な育成であった。1844 年のロンドンに折からの産業革命で農村から都会へと追われた彼らは働きづめで私生活に余裕は無く、社会にもそれに対応する施設もなかった。「それを自らつくり出した余暇活動が、やがて YMCA というクラブになった」(池田鮮氏)。YMCA 運動のスタートは決して恵まれた環境からではなかった。

故竹中正夫先達も、「この世の旅路においても、YMCA の歴史においても、苦難と希望は避けられない課題であった」と言われている。

金沢 YMCA も同様に苦難の歴史を経験している。しかし、全国に展開する YMCA の仲間たちからの激励を、私たちは忘れてはいない。『武士道』で知られている新渡戸稲造は、YMCA 運動のリーダーでもあった。若者に生きる力と希望を与えよ、と説き続けた。青少年に愛と力と希望を与えなければ、社会の未来はない。金沢 Y はそのヴィジョンをいただきつづけた。

《YMCA と私》

リーダーとして

金沢 YMCA リーダー 杉原 久美子

こんにちは、ミッキンリーダーです。私はいま金城大学社会福祉学科介護コース 3 年です。ちなみにお出身はお米のおいしい富山だよ。大学では、心身に障害を持つ人や高齢者など、日常生活のなかで援助を必要としている人に対する支援について学んでいます。ミッキンリーダーの思い出に残る Y の活動は、みどりっ子キャンプだよ。特に夜中、Y の皆とトイレに行くときに見た流れ星は、一生忘れないぐらいの思い出だなあ。私は、皆の笑顔に出会えることが楽しいんだ。だから、また皆と活動で出会いたいな。



金沢 YMCA との出会い

金沢 YMCA 会員

金沢ワイズメンズクラブ会員 伊藤 仁信

金沢 YMCA との出会いは日本基督教団金沢教会に入会してからです。教会に通って何とかその雰囲気慣れてきたころ、長老の S さんから金沢ワイズメンズクラブに来てみないかとの熱心な誘いがあり、ゲストとして毎月例会に出席しているうちに金沢 YMCA の現状についても分かってきました。

金沢 YMCA の活動は、いまよりずっと盛んな時期があったけれども、その後なんらかの理由で停滞していた期間があり、当時の青年が壮年になり、壮年がさらに歳を重ねているなかで、YMCA 本来の青年層が極めて少なくなってしまうようです。停滞した原因が現在まで尾を引いているのかもしれませんが、それはともかく、YMCA についての認識をどれだけもっているのか、自分の周りの人々に聞いてみました。すると、大半の人達は「西条秀樹の歌か」とか、「ボーイスカウトと違うのか」とか言います。説明すると、年配の方は「そういえば昔あったな」と思い出してくれるのですが、中学・高校生の年代になると、半分は分からないか、またはまったく関心がありませんでした。



現在、金沢の YMCA やワイズメンズクラブの会員の方々は、とても熱心に活動なさっていますが、その大半が人生の大経験者であり、自分もそうですが、若いときのように体が滑らかに動かないので困っております。しかしながら、このまま手をこまねいてはどうにもなりませんので、若いときのことを思い出しつつ、金沢ワイズメンズクラブを通して再度勉強しながら、YMCA の PR につとめ、金沢 YMCA が少しでも発展できるように微力ながら協力したいと思っております。

フィリピン・台風 21 号災害の復興支援募金

2006 年 11 月 30 日、フィリピン・ルソン島で台風による大災害が発生し、死者・行方不明者 1,479 名、被災家屋数は 9 万 5000 戸、全体で 316 万人の人々が被災。現地の YMCA は主に中・長期的

な復興に取り組みます。これに応じて日本 YMCA 同盟は国際協力募金(緊急支援)から支援金を送りますので、金沢 YMCA の皆様も支援募金にご協力をお願いいたします。募金期間は 2006 年 12 月 18 日～2007 年 3 月 31 日です。

活動報告

第4回金沢わいわい寄席を終えて

【開催時期】2006 年度最初の理事会で、「金沢わいわい寄席」は金沢・犀川の両ワイズメンズクラブ

が主催し、YMCA が支援する体制で行なうことにいたしました。犀川クラブから川村・北・作田、金沢クラブから伊藤・数沢・澁谷、YMCA から朝倉が加

わって実行委員会を組織し、澁谷が実行委員長、伊藤が会計を担当することになりました。4 回目で準備・運営組織ができたことは大きな前進でした。この組織のことを決める際に開催時期を 10 月にすることにしました。2、3 月の寒い季節では客足が遠のくおそれがあり、秋の季節ならば天候の心配がないだろうという配慮からです。

【会場手配】さっそく石川県立音楽堂との会場折衝に入りましたが、10 月で空いている日は二日しかありません。5 ヶ月前での状況です。冷や汗をかきましたが、10 月 27 日(金)に使うという仮予約をして、今度は森乃福郎師匠にスケジュールは大丈夫かと電話で確認です。幸い OK ということで、音楽堂の交流ホールをキープしました。音楽堂の利用が盛んになり、希望月日の予約がむずかしくなっております。特に 10～12 月に行事が殺到しているようです。今後の開催についてはこの点を考慮する必要があります。

【チケット販売】チケット販売については、4 回目でもあり少し楽観しておりましたが、ワイズじゃがいも販売と重なったことにより苦慮いたしました。各人とも広い販売網を持っているわけではありませんので、販売先が重複することもあるからです。ワイズメンズにとって「じゃがいも」と「チケット」はこれからも付いて回るので、良い知恵をだしていかなければなりません。

【収益とお礼】みんながチケット販売に努力した成果が 127,997 円になりました。胸をはって金沢 YMCA に寄付することが出来ました。実行委員会を代表して厚く御礼申し上げます。

現役時代に営業経験のないメンバーには販売は大変だと思いますが、今後ともご協力いただきたく、なにぶんよろしく願い申し上げます。

(実行委員長 澁谷 洋太郎)

ながまち ふれあいフェスティバル 2006

恒例の“ながまち ふれあいフェスティバル 2006”が、去る 11 月 23 日(祝)の 10:00～15:00、金沢市長町研修館とその周辺で開催されました。実施団体や参加サークル数は 45 にもなり、幅広い年齢層の皆さんが行事を盛り上げて下さいました。来場者もベビーカーの家族連れなど、子供

たちから大人までいて大賑わいでした。



当日は、降雨はありませんでしたがぐもり空で、寒波の南下により肌寒い一日でした。そのせいか、屋外模擬店の源平うどん、おでん、とん汁、肉まん、焼いもなど温かい食品が早々と完売し、とても好評でした。

金沢 YMCA のブースは、1 階出入り口に近い第 5 学習室にあり、「ポスター・写真・グッズなどの展示」により団体紹介をしました。これには、金沢 YMCA が中心となり、金沢と金沢犀川のワイズメンやメネットが協力しました。

フェスティバルではスタンプラリーも企画され、当金沢 YMCA の会場にも 5 箇所中 1 箇所のスタンプ設置箇所があり、多くの参加者が立ち寄って下さいました。5 箇所全部のスタンプを集めると、くじ引きで景品がもらえるので、くじ引き場となった資料室は終始賑わっていました。

今回、金沢 YMCA や金沢と金沢犀川のメンバーの来場者が少なかったのは残念ですが、「YMCA とワイズは協働」との共通認識を深め、来期にはぜひご家族やお孫さん連れでお出かけください。七宝焼き教室など体験型のプログラムも多彩で、楽しさ一杯の「いらっし、みまっし、たべまっし!! ながまちフェスタ」ですよ。

(北 肇夫)

第 28 回ユニセフ“ハンド・イン・ハンド” 街頭募金

世界では毎年 1,100 万人の子どもたちが 5 歳の誕生日を迎えることなく命をおとしています。その原因の多くは、ワクチンや安全な飲み水、十分な栄養があれば防ぐことができるのです。こうした子

どもたちの命と、希望に満ちた未来を守るため、今年のユニセフのテーマは「守りたい、子どもの命 — 子どもの未来」です。

12 月 23 日、豎町入り口で 13:00 から 1 時間、10 名が参加して街頭募金を実施したところ、13,025 円が寄せられました。ユニセフ募金にご協力くださいました方々に心から感謝いたします。

YMCA からは菅原陽子さん、菅原 唯ちゃん、犀川クラブからは北 肇夫、北 佳子、平口哲夫、三谷信三の各氏、金沢クラブからは伊藤仁信、数沢輝夫、澁谷洋太郎、山谷 澄の各氏が参加しました。



(数沢 輝夫)

インフォメーション

◇ 金沢ワイズメンズクラブ 1 月例会

日時:2007 年 1 月 18 日(木) 18:30~20:30

会場:金沢ニューグランドホテル

会費:3000 円(会員不要、メネット 2000 円)

卓話:平口哲夫(金沢医大教授、金沢犀川クラブ)

「鯨食文化の伝統」

* 日本捕鯨協会からイワシクジラの特製赤肉とベーコンの提供を受けて試食いたします。

◇ 金沢犀川ワイズメンズクラブ 1 月第一例会

金沢クラブ 1 月例会に参加いたします。

◇ 事務局の小野陽子さんに男子誕生

おめでとうございます。

◇ 事務局員の代行

産休中の小野さんに代わって 3 月まで菅原陽子さんにお手伝いしていただいております。

会員・会費について

会員について

◇入会するには？

- ・本会の目的に賛同し、その達成を願う人および活動に参加する人は入会申し込みができます。
- ・入会申込書に所定の事項を記載し、入会金、会費を納入することにより入会できます。

会費について

◇会員には次の 3 種類があります。

維持会員 (会費 年間 12,000 円)

通常会員 (会費 年間 6,000 円)

少年会員 18 歳未満 (会費 年間 3,600 円)

- ・初めて入会する人は入会金 1,000 円が必要です。(会員増強運動期間につき、今年度中入会金無料！！)

◇会費の納入は次のいずれかの方法で。

・郵便振替

加入者名 金沢 YMCA

口座番号 00790-8-56852

※払込料金加入者負担用紙、事務所にありま

す。

・銀行の指定口座に振り込む

北國銀行 香林坊支店 普通預金

口座名義 金沢基督教青年会

口座番号 428491

※手数料自己負担

・現金で支払う

◇会費の納入期限

2006 年度(平成 18 年度)の会費納入は 2007 年 3 月 31 日までに、なるべく早くお願いします。

金沢 YMCA は公益事業団体であり、ボランティアによって運営されていますので、会運営の財源は皆様のお納めくださる会費が基本です。

ご寄付について

◇寄付金も、会費と同様、当会が備えている払込料金加入者負担の赤い郵便振替用紙で郵便局の ATM を使ってお納めいただくと便利です。その際の領収書を証拠としてご保管ください。